

「選ばれる学校づくり」シリーズ / 経営者・管理者向けセミナー

進学プロセス崩壊

～withコロナでも選ばれる専門学校とは？～

特別セミナー
WEB開催

無料

- コロナで変わる学生の進学プロセス
- リモート、WEB、動画だけでは解決できない
- 選ばれる学校になるための本質的な取り組みについて
- 新しい進学プロセスに合わせたコミュニケーションデザイン
- これからの専門学校、これからの職業教育

日時

① 2020年
11月5日(木) 17:00-19:00 (予定)

② 2020年
11月7日(土) 13:00-15:00 (予定)

- ※ 2日程とも同じ内容のセミナーとなっております。ご都合の良い日程を選んでください。
- ※ Zoomを使用したWEBでの開催になります（事前登録制）。カメラ・マイク付きでの参加が必須です。
- ※ 資料を投影するため、画面の大きいPC、もしくはタブレット端末での参加を強く推奨します。
- ※ 通信環境やZoomアプリの設定はご自身でお願いいたします。
- ※ お申込みいただいた方には後日、当日アクセスいただくURLや詳細な資料をお送りします。

謹啓

2016年、2019年と2回にわたり「専門学校進化論」と題した公開セミナーを開催いたしました。ご参加いただいた方全員から「参考になった」と非常に高い評価を頂きましたが、今回のセミナーはwithコロナ時代を迎えた緊急提言です。新型コロナウイルス感染拡大により、専門学校においてもこれまでの常識が覆されている状況が続いています。収入減による進学の断念、就職への進路変更や、安定性などより慎重な進路検討など、高校生の動きも変わっていると言われております。教育ではIT技術を用いてのリモート授業が展開され、学習方法やツールの選択肢が変わりました。広報ではオープンキャンパスのオンライン化など、これまでとは全く異なるスタイルに移行し、ルート、検討方法も変化すると考えられます。withコロナ時代で変わるのは進学活動だけではなく、これから社会に求められる人材像も同様に変化していくと考えられます。その変化に伴って求められる職業教育も変化していくと思われまます。このように、コロナを機に専門学校にも変化の波がまさに今、訪れています。この先1、2年は小手先での対応でも乗り切れるかもしれませんが、3年、5年、10年と生き残るためには**本質的な変化が不可欠**です。専門学校がこのコロナ禍をチャンスに転換し、今後も選ばれ続ける学校になるためには、学校のリーダーである経営者は何をすべきでしょうか。状況を正しく把握し、旧態依然とした体制を脱し、withコロナ時代に適合したものに「**学校の価値**」を転換していくことが必要です。20年以上にわたり、心理学を用いて高校生の進路決定研究やキャリア教育・職業教育研究を行ってきた(株)応用社会心理学研究所は、このほど、そのような問いについて答えを出していくためのセミナーを開催します。専門学校の経営・改革に携わる方にはぜひお役立ていただきたいと考えています。ご多忙の折とは存じますが、奮ってご参加頂きますようお願い申し上げます。

謹白

こんな方
にお勧め

- withコロナの募集広報に不安がある
- 小手先の対応ではなく、本質的な学校経営を考えたい
- 広告に頼った募集に疑問を感じる
- 「選ばれる学校づくり」に興味がある
- 新しい授業様式に対する学生の納得度に不安がある
- 将来に不安を感じるが、何をすればいいかわからない
- 組織の風土や教職員の意識を変えたい
- チームの連携を強化したい（広報と教務など）など

主催

(株)応用社会心理学研究所 <Aspect>

1987年に日本社会心理学会理事長（当時）の廣田君美を代表に社会心理学者が集まり設立されたシンクタンク。学校法人や大手企業のマーケティング活動や組織運営に関わり、社会心理学を応用した独自のノウハウを提供することで、他社では解決できなかった課題を解決している。

後援) 13歳のハローワーク公式サイト、(一社)大阪府専修学校各種学校連合会、「しごと観育成」研究会

お申し込み方法

下記申込書をFAXもしくはWEBサイトにてお申込ください。

お問い合わせ

(株)応用社会心理学研究所 小西 TEL:06-6941-2171

セミナー 参加申込書 FAX:06-6941-2081 ※定員になり次第お断りする場合があります。

学校名	TEL		参加日程 (どちらかに○)	
所在地	〒		11月5日	11月7日
ご出席者 氏名 (代表者)	(フリガナ)	所属・役職		
		メール		

※複数数のご参加を希望される場合は、お手数ですがWebからお申込みいただくか、本案内状をコピーしてFAXにてお送りください。
※今回はご都合が合わない場合は、お問合せください。次回案内や資料をご案内致します。

★WEBサイトでのお申し込みは →
http://aspect-net.co.jp/seminar



公開セミナー開催報告 専門学校進化論



(株)応用社会心理学研究所は2016年に「専門学校進化論 いますぐ、リーダーにできること」、2019年に「専門学校進化論 Part. II ～ゆらぐ 専門学校のアイデンティティ～」と題した公開セミナーを実施し、主にリーダーの方に向けて講演を行いました。

セミナーには、首都圏はもちろん九州や東北など全国各地から、専門学校の経営層・マネージャークラスをはじめ多くの方にお越しいただきました。

専門学校をとりまく環境が激変する中、「**適応する組織づくり**」、「**価値の指標の導入**」、「**職業教育の未来**」などについてお話をさせていただきました。ご共感の声を多くいただき、会場は熱気に包まれました。

セミナー参加者全員が「内容が参考になった」と回答！

◆現在の専門学校の置かれている現状と課題について、明確な分析を示していただき、大変参考になりました。

◆数について追い求めていたので、「価値」についてもっと考えたい。

◆価値を探ること、教職員が共通の認識を持つ大切さは大変わかり易い内容でした。有難うございました。

◆価値の指標と共有の「場」作りは、まさに本校に足りない部分と思い知らされた。

◆共有の「場」づくりについて積極的に取り組みたいと感じました。

◆現状、来校特典による数字に頼っていたので、広報活動の見直しのよいきっかけとなった。

◆学校の価値を考えていき言語化することが大切。なんとなく頭の中にポヤーとあるので、組織で取り組むことの大切さを認識できた。

◆共有する「場」は結構もっているが、価値というキーワードで話し合ったことがなかったので、早速職員で「価値」について議論していきたい。

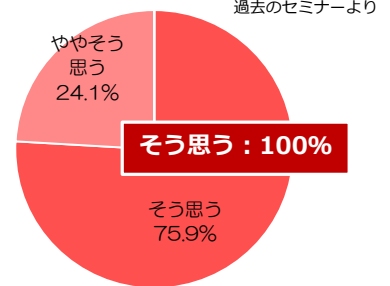
◆PDCAの重要性に改めて気付きました。

◆広報と教員、教員の価値のちがいが。現在いちばんの課題と考え出席いたしました。ありがとうございました。

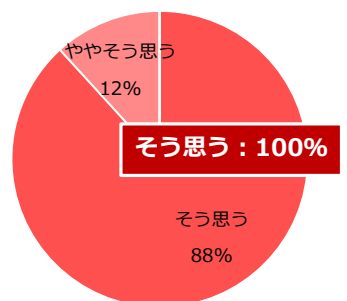
◆数を追う文化をそのまま引きついでいることは、当校の弱みだと感じました。

◆組織の一致は非常に大事。今後取りくんでいきたい。

Q.『専門学校進化論』の内容が参考になった



Q.セミナーに参加して良かった



(株)応用社会心理学研究所 学校事業分野での実績

(株)応用社会心理学研究所は、学校事業分野では、募集マーケティング、ブランディング、キャリア教育等の研究・実践を行っております。中でも、**進路決定研究については、20年以上の実績**があります。

◆大学進学者に対する全国一斉調査 (対象：大学進学検討者 26,993名)

大学進学のみかメカニズムを明らかにするために、大学進学を希望する50万人に対して調査を実施しました。



◆全国専門学校共同入学者調査／卒業生調査 [全国の専門学校180校以上、12万人以上のデータベース]

専門学校の募集活動やブランド構築を支援し、教育の質の向上に役立てていただくために大阪府専修学校各種学校連合会と共同調査を行っています。

◆高等教育機関からの受託調査

- ・大学向け各種調査 延べ20校
 - ・専門学校向け各種調査 延べ80校
- (※全国専門学校共同調査は除く)

入学者／非入学者調査、在校生調査、修了生調査、教職員調査、オープンキャンパス調査、募集説明会調査、授業評価調査、インタビュー調査、ニーズ調査 など

◆「13歳のハローワーク公式サイト企画“しごと観育成”研究会」

若者の“しごと観”育成を目的として“しごと観”の現状や、影響する要因をつきとめるための調査・研究を行っています。

◆高校生から見たキャリア教育実態調査

全国の高校生4,679人(18校)を対象に、高校で行われているキャリア教育の実態と“しごと観”の醸成について調査しました。

など、他多数